



越中福岡 の 菅笠製作技術 保存会通信

— 国の重要無形民俗文化財指定 —

2017年1月 No.23

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝12
福岡総合行政センター 地域振興課内
TEL.0766-64-5333 FAX.0766-64-5344

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
謹んで新春のお喜びを申し上げます。

皆様には保存会の活動に格別のご理解、
ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月に保存会の取組みが、
「北陸農政局『ディスカバー農村漁村(むら)
の宝』」に選定され、北陸農政局にて優良
事例選定証授与式に出席いたしました。

選定されたどの団体も、高齢化や担い手不足に苦悩していますが、
地域愛「むらの宝」を守り発展させる個性的な活動を地道に続けており、
大変共感いたしました。

このような評価を頂いたことを節目に、私達も菅笠を、次世代に残
し発展させるため、より一層力を入れて一緒に頑張っていきましょう。



こんな菅笠あったらいいな!
新しい菅笠・スゲ細工などの作品やデザイン画を大募集!

「第3回 菅笠展覧会・コンテスト」

新しい菅笠・スゲ細工などの作品やデザイン画を大募集!

国の重要無形民俗文化財に指定された「越中福岡の菅笠製作技術」の向上と伝承、そして匠の技を広く知ってもらうため「第3回 菅笠展覧会・コンテスト」を開催いたします。展覧会では、菅笠製作技術保持者や研修生の作品を一堂に展示。また、コンテストでは伝統の菅笠やアイデア笠、デザイン画、スゲ細工品などを募集します。皆さんふるってご応募ください!

【コンテスト作品募集】募集期間… 3月10日(金) 締め切り ※当日消印有効

・作品募集内容…

【創作笠部門】①菅笠(角笠と富士笠以外の、市女笠や三度笠などの従来からの菅笠)
②独自の発想で変化した菅笠やデザイン画(サイズA3)、ポスター(サイズB2まで)

【創作アイデア作品部門】①スゲ細工(菅笠以外のスゲ細工品やスゲを使ったアイデア作品)
②独自の発想のスゲ製品のデザイン画(サイズA3)、ポスター(サイズB2まで)

※デジタルデータでの応募は不可。必ずプリントしてください。

・材料…必要なスゲや竹骨等は用意します。※実費がかかる場合もあります。

・募集条件…応募点数の制限はありませんが、応募用紙1枚につき1点とします。

・応募・お問合せ先…菅笠展覧会・コンテスト実行委員会(越中福岡の菅笠製作技術保存会内)

〒939-0192 富山県高岡市福岡町大滝12(福岡総合行政センター地域振興課内)

TEL. 0766-64-5333 FAX. 0766-64-5344 E-mail. f-chiki@city.takaoka.lg.jp

※応募用紙に必要事項を明記し、持参、郵送、FAX又はEメールにてご応募ください。

・発表及び展示…全応募作品を、3月18日(土)・19日(日)に、ふくおか総合文化センター Uホールで行われる
「第3回 菅笠展覧会・コンテスト」で展示します。審査の上12作品を表彰します。※受賞者には実行委員会より連絡します。

・賞…【創作笠部門】最優秀賞…1点 賞金3万円、優秀賞…4点 賞金1万5千円、新人賞…2点 賞金5千円

【創作アイデア作品部門】最優秀賞…1点、優秀賞…4点 ※表彰式18日(土)13:30~

※応募作品は返却いたします。作品の郵送料など応募にかかる費用は、応募者の負担になります。応募作品の販売を希望する応募者は、販売金額を明記してください。作品を商品化する場合は、応募者にご相談させていただきます。応募者の個人情報(当事業の目的以外)では使用しません。



第2回 笠部門 最優秀賞
「尺8寸角紋次郎笠」林すず子



第2回 アイデア作品部門 最優秀賞
「平家の郷と大江戸街道」石井忠雄

「第3回 菅笠展覧会・コンテスト」★全応募作品を展示、12作品を表彰します!



会期中に、出品作品の
予約販売を行います。

※一部販売できない作品もご
ざいます。

【日時】3月18日(土)・19日(日) 9:00~
18日…21:30まで、19日…12:00まで

【会場】ふくおか総合文化センターUホール

【記念講演会】18日 14:00~15:00 ※入場無料・事前申し込み不要

演題「菅笠から暮らしを考える ~環境NPOの取組み~」

講師 伊藤 隆二氏

(NPO法人 美しいやまがた森林活動支援センター 副理事長)

【菅笠づくり実演】①10:00~12:00 ②14:00~16:00 (19日①のみ実施)

【菅コースターづくり体験】材料費200円(講師:菅細工ボランティア 菅っこメイト)

①10:00~12:00 ②14:00~16:00 (19日①のみ実施)



福井市清水東公民館・越前すげ笠保存会様 「つくりもんまつり」交流会

伝統300年の奇祭「福岡町つくりもんまつり」が、9月23日（金）・24日（土）に開かれ、福井市清水東公民館・越前すげ笠保存会の皆様14名が、24日（土）に見学に来てくださいました。

福井市清水東公民館・越前すげ笠保存会の皆様とは、久しぶりの再会！積もる話がありますちゃあ〜というわけで、我が保存会からは27名が参加し、とやま・ふくおか家族旅行村 ロッジ山ぼうしで交流昼食会を行いました。菅笠を愛する私たちの菅笠トークは止まりません。昼食後は、タイミング良く山岸菅農組合の菅苗取りを見学。そこでも質問が飛び交い、「つくりもんまつり」の見学案内を行う、観光ボランティア「さくらの会」との待ち合わせ時間に間に合うかハラハラ。福岡庁舎の展示コーナーで行った、笠縫い実演、菅コースターづくり、スゲ苗植え前のスゲ田の視察もし、帰りのバスでは、菅田や菅笠づくりなどの話で盛り上がったとのこと。

これからも全国の菅笠産地の皆様と連携し情報交換を行って、発展につなげていきたいものです。



▲菅笠の展示 福岡庁舎一階（左）、
あいの風とやま鉄道 福岡駅コンコース（右）

◀笠縫い実演（笠縫い研修生）

23日…地崎知江さん、秋元和子さん

24日…立浪登美子さん、福田恵子さん

◀菅コースターづくり指導（菅っこメイト）

23日…山岸朝子さん、村岡節子さん

24日…村岡節子さん、竹村与志子さん

まなびっこフェスティバルで笠縫い体験



10月1日（土）、二上まなび交流館で「まなびっこフェスティバル 豆笠づくりと菅のコースターづくり体験」を行いました。

豆笠づくり講師として、城山ミキさん・越後喜代さん・宮崎光子さん・笹島カズさん・松平カヅミさん・橋本レイ子さんが28名の児童に

指導、菅コースターづくり講師として、菅っこメイト代表の大道悦子さん・山岸朝子さん・大野弘子さんが43名の児童に指導しました。

子供達は、膝小僧に豆笠をちょこんとのせて、使い慣れない長い針で、慎重に豆笠を縫っていました。

豆笠を仕上げた子は「大きな笠も縫ってみたいな♪」と、瞳を輝かせており、事務局はこれからも皆に菅笠を知ってもらおう機会を大切にしていきたいと思いました。



富山日伯交流友の会 豆笠づくり体験



10月23日（日）にUホール研修室で、ブラジルと日本両国の相互理解を深め、安全で暮らしやすい地域づくりに貢献することを目的として活動している「富山日伯交流友の会」の13名が、言葉の壁など抵抗なく豆笠づくりを体験しました。

指導は、城山ミキさん・越後喜代さん・宮崎光子さん・山本百合子さん・宮崎和子さん・大道悦子さん・松平カヅミさん・研修生の福田恵子さんが行いました。

大道さんが余ったスゲで紐を作り、豆笠に取り付けてストラップにすると、大変喜んでもらえました。

各種イベントに参加、笠縫い実演ほか

「雅音楽祭」

汗がとまらない、とても蒸し暑い9月3日(土)に、富山グランドプラザで、富山県神社庁主催「雅音楽祭」の特別公開として、伊勢神宮式年遷宮に奉納された御神宝『菅御笠』の原寸大笠骨や、大きな大野笠(笠骨製作/共に城山会長)を展示し、菅笠の説明を城山会長、笠縫い実演を城山ミキさん・越後喜代さん、菅コースターづくり体験指導を菅っこメイトが行いました。

日差しが強いため、菅が乾燥して縫いにくい…、体験用テーブルが熱くて触れない…、夏のイベントは暑さとの戦いですが、菅笠や菅に興味を持ってくださる来場者と交流ができて良かったです。



「ふくおか産業フェスティバル」

毎年、早朝から大勢のお客様で賑わう「ふくおか産業フェスティバル」が、11月3日(木・祝)Uホールで開かれ、菅笠の展示、笠縫い実演を井淵桂子さん・桜栄美西里さん、菅コースターづくり体験指導を、菅っこメイトの竹村与志子さん・大野弘子さんが行いました。菅笠を身近に感じている地元の来場者は、菅笠コーナーで足をとめ、じっくり見学してくださいました。



「第38回 富山県伝統的工芸品展」

県が毎年開催している「第38回富山県伝統的工芸品展」が、11月4日(金)～6日(日)に、イオンモール高岡で行われ、国指定伝統的工芸品の展示や体験・実演に併せ、県指定の伝統工芸品である「越中福岡の菅笠」を展示しました。匠の技に触れる良い機会に来場者も喜んでいました。

昔の菅笠や道具など残っていませんか？

地元では、福岡を菅笠の産地として価値を高める産地ブランド化を図り、「菅笠」を生業として次世代に残すため、多種多様の支援やメリットが多い、国の「伝統的工芸品」の指定に向けて、昔の道具や菅笠など、100年以上前からこの福岡の地で菅笠が生産されていた証拠になる現物を探しています。

つきましては、会員の皆様やご近所の方々の蔵などに眠っている100年ぐらい前(大正6年以前)の菅笠づくりの道具や菅笠、写真、資料がありましたら、保存会まで情報提供をお願いします。

連絡先：64-1423



菅の病気

6月7日(火)、笹島かずさんの菅田の菅の一部が枯れているという相談があり、岡山理科大学の星野卓二理学博士に、被害にあった菅を見て頂きました。

【菅が枯れる原因として】

- ・周辺が乾燥したために生育が困難。
- ・農薬、除草剤などの影響。
- ・気温の異常な上昇による影響(急激な水温上昇は生育ダメージ)。
- ・土の影響(酸素不足)。



【改善策】常に水を供給できる環境が必要。田を耕して酸素不足を解消すれば回復する可能性があります。カサスゲは、湿原の肥料が少ない場所でも充分生育できる植物ですが、肥料を加えることで更に成長が促進されます。

というアドバイスを頂きました。菅栽培でお悩みの方がおられましたら、いつでもご相談ください。一緒に改善していきましょう！

福岡小学校 菅田用 スゲ苗とり 3,500本！



10月1日(土)城山会長の菅田で、福岡小学校菅田用のスゲ苗とりが行われました。菅支援グループ「SUGET」が中心となり、グリーンツーリズムとやま・援農たっぐ(富山大学生)の皆様の



協力で、城山会長の指導のもと、3,500本を採取！悪天候もなんのその、皆の熱意で晴れに変わり、お手製の座布団に座って丁寧に抜き取りました。

北陸農政局『ディスカバー農村漁村(むら)の宝』優良事例に選定



※…内閣官房、及び農林水産省が実施した募集において北陸農政局管内から応募した114地区のうち、北陸農政局の優良事例として11地区を選定しました。

保存会の活動が「北陸農政局『ディスカバー農村漁村(むら)の宝』」の優良事例に選定され、12月13日(火)に金沢市の北陸農政局で行われた優良事例選定証授与式に城山孝会長が出席しました。

「北陸農政局『ディスカバー農村漁村(むら)の宝』」は、地域の活性化や所得向上、都市と農村交流等に取組んでいる優良な事例を選定し、広く発信することが目的です。

保存会の活動キャッチフレーズは「菅笠! 知らんがけ、かぶってみられまあ〜スゲエ笠〜」。今回の選定をきっかけに、菅笠を知らない世代、菅笠をかぶったことのない方などにまずは知ってもらい、菅笠を次世代に残す活動に展開していきます。



コケコッコー! 干支・スゲ酉づくり教室

とやま・ふくおか家族旅行村 ロッジ山ぼうしで、毎年恒例「干支スゲづくり教室」を12月10日(土)に行いました。今回も菅細工サークルの菅っこメイトのご協力により、魅力的な酉づくりに挑戦! 講師の村岡節子さん・糸岡淑子さん・山岸朝子さんが25名の参加者に指導しました。

卵形の高さ7cmの発砲スチロールにスゲを両面テープで貼り、胴体・羽・尾・口ばしに見立て、トサカや肉ひげは赤いフェルトで表現し、今にも「コ・けっこ〜!」と元気に鳴き出しそうな酉に仕上がりました。

「とっても楽しかったから、来年も企画してね!」という参加者の嬉しい言葉が、事務局のエネルギー! 今年も頑張りますのでよろしくお願いいたします。

会場付近では初雪が降り、辺り一面銀世界! とても綺麗でしたが、道中が心配のため、予定時間よりも早めの終了となりました。参加者の皆様には、急がせることとなり、大変申し訳ありませんでした。

会場付近では初雪が降り、辺り一面銀世界! とても綺麗でしたが、道中が心配のため、予定時間よりも早めの終了となりました。参加者の皆様には、急がせることとなり、大変申し訳ありませんでした。



横浜で菅笠づくり&栽培

横浜市の横川恵さんから、「飯島小学校の生徒に菅笠づくりを教えたい。」と問い合わせが10月にありました。早速、笠縫い道具一式を貸出し、笠骨と菅を送りました。

菅も育ててみたいとのことで、菅支援グループ「SUGET」がスゲ苗を準備。11月に生徒が植えました。栽培方法については、今後地元の指導の元に行われます。

横川さんは、貸出した笠縫い道具を基に自作の道具を使って、市教育委員会発行の「菅笠の作り方」を参考に笠縫いを習得し、八木節踊りで使う菅笠を6年の生徒に教えます。仕上がりがとっても楽しみです!

「日本一周 自転車で巡る伝統工芸品の旅」を行っている澤崎裕太さんは、48都道府県にある経済産業省指定の約200種の伝統的工芸品などを巡る旅をし、それをインターネットを通して、日本の伝統工芸品の素晴らしさを世界中に伝え、再認知してもらい後継者不足の解消に繋がりたいと考えています。2015年10月15日に小樽を出発し、2016年10月17日(月)に富山県入りした澤崎さんは、18日(火)(出発から197日目)に菅笠づくりを見学しました。何故菅笠を見たかったのか…澤崎さんのお祖父様が仕事で愛用していたので、どんな風にどんな人が作っているのか知りたかったようです。

城山会長宅で、菅笠づくりを見学。奥様のミキさんが、シカケ・ノズケ・笠縫いを披露しました。笠骨づくりは、木村昭二顧問の工房で見学し、身の丈もある竹も鉈を使い一人で割る姿に驚いたそうです。後継者不足について城山会長と語り合うなど、福岡町では気さくで温かいおもてなしを行いました。

澤崎さんの「日本一周 自転車で巡る伝統工芸品の旅」ブログはコチラ…<http://wasawasajapan.sakura.ne.jp/wp/>

★富山県での楽しみは、「菅笠」とご当地ラーメンの「富山ブラック」だそうです!